

ローカル5Gが変える新たな社会

— 施設運用や現場の生産性改革 —

社会インフラ統轄本部
情報通信ユニット
通信インフラ工事センター
副 長
中山 正一
技術士(電気電子部門)

キーワード

ローカル5G、高速大容量、低遅延、高セキュリティ、
遠隔制御、AI監視、3Dモデリング



■ 概 要

ローカル5Gは2019年12月に制度化され、企業や自治体などがキャリア5Gと同等機能をもつ無線設備を自ら構築運用が可能となった。近い将来、社会において得られる効果や新たな価値に大きな期待が寄せられている。弊社は電波伝搬評価の研究開発や総務省実証実験参加、自社ラボ運営を通じ、このローカル5Gサービスに必要なソリューションノウハウを取得し、2023年度以降の社会実装を目指している。本発表では以下の内容を報告する。

【特 長】

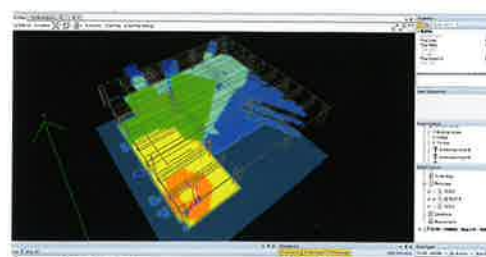
- ① ローカル5G概要と研究開発成果
- ② 実証案件(PoC)成果、自社ラボ運用状況
- ③ 目指す導入フィールド、ソリューション提供、効果や新たな価値

【今後の展開】

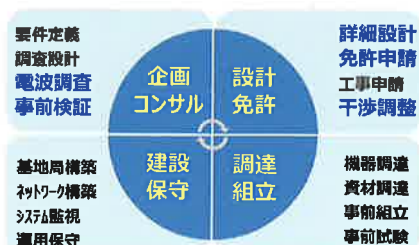
現在、この無線システム利用のためのユースケース開発を行っており、平行して引き合いを頂いているお客様に向けて詳細の提案、社会実装に向けた取り組みを実施している。



● ローカル5Gの特長



● エリアシミュレーション



● トータルビルド & サポート



● 目指す導入フィールド例